

早瀧比咩神社通信

発行所：早瀧比咩神社
総代会 玉野市滝773番地
不定期発行
編集：葛原

ご祭神めぐり 早瀧比咩神社の末社群 八百万の神々

本号はお宮行事の報告ではなくご祭神の特集を組んでみました

早瀧比咩神社のご祭神
瀬織津姫命・速秋津姫命・天吉葛命の御三神については、本年八月20日付No.2019013号に掲載しました。

境内末社のご祭神

木野山神社は昨年十一月20日付No.2019009号に掲載しました。

牛頭天王宮は令和二年12月に分社先のうづき原から境内へ遷座しました。

素戔鳴命の化身とされ、京都八坂神社（祇園社）のご祭神で祇園天神とも

皆様ご存じだったでしょうか。早瀧比咩神社に奥の院が存在していたという夢のような話です。去る九月の終わり頃、山村付近をよく散歩されている川端組三輪氏に倉敷市児

特集 神社奥の院

島由加地区（山村）の住民が声をかけ、同地区には早瀧神社奥の院が存在し、先祖代々、お詣りしてきたが、中心でお祈りしていた人が本年に亡くなられて以降、他の地元の人が様子見に訪れているとのこと。彼に声をかけ

云われる。平安時代から行疫流行神として崇信され、有名な祇園祭はこの神を祀って疫病を鎮める



境内末社群

年中行事です。

若一王子は和歌山県熊野神社の撰社の諸王子の中で第一位の王子を云う。少女又は幼童の姿で現れ



奥の院 祠



奥の院 全景

とお社（祠）は猪に荒らされ散乱していたが、棒鳥居に刻まれている文字が奉（明治41年）献（五月吉日建立）とあり、祠には（明治32年正月吉日）とありました。

る王子神で熊野権現の勧請された場所に随伴して祀られる例が多い。

天照大御神は言うまでもなく日本神話の最高神で太陽神と皇祖神の二つの性格を持ち、伊邪那岐・伊邪那美命の三子中の第一子で伊勢神宮のご祭神です。天空を照らす偉大な女神で太陽神ともされている。境内には若一王子宮と荒神社の間の五角柱正面に刻まれた名前がかすかに読みとれます。

荒神社は令和二年12月に牛頭天王宮と共に境内へ遷座しました。かまどを守る神とされ、火を防ぐ神として、後には農業全般の神としてかまどの上に棚を作って祀られていた。荒々しく乱暴で天皇の命にも従わぬ神とも



素戔鳴神社

云われる。
境内外末社のご祭神
龍神社は本年七月20日付No.2019012号に掲載しました。

素戔鳴神社（小宮さん）素戔鳴命と国狭槌命です。素戔鳴命は農業の神、疫病（防災後疫の神）、荒

ふる神の祖とされる。伊邪那岐神と伊邪那美神から生まれた天照皇大神、月読神とは姉弟関係です。素戔鳴命は与えられた

その後お宮関係者三名が徒歩で現地を再訪問して不要な竹や雑木を伐採して片付け、祠を復元しました。編集士の手元にある文献には奥の院に関する記載は見つからず、真偽のほどは不明です。神社氏子の皆さんの中にはこの話を聞いたたり現地を見た人もおられ、村人の話の中「早瀧神」という言葉が出てくるので総合して考えると早瀧比咩神社奥の院らしき存在かなと推察しています。尚、この場所から少し離れた所には正蔵院広場や石仏、奥の院跡地が存在し、盆踊りや先代ご住職は時々法要を営まれていたようです。

再建立した医薬の神様です。特に女性の病氣回復や安産、子授けに靈驗あらたかとの声。
（秋葉神社）静岡県浜松市天竜区春野の秋葉山に祀られている神社で、ご祭神は火之迦具土命で防火の神様です。
（愛宕神社）京都市右京区にある愛宕山頂にあり、ご祭神は伊邪那美命と迦具土命で防火の神様です。
稲荷神社は蓮岡地区の人達がお祈りしている神社で行事を通して地区民の融和が図られています。元は農業（五穀豊穣）の神として信仰され、江戸時代に商売繁盛の神として祀られるようになり町民や大名にも親しまれ全国各地に広がり八幡宮と同じ三万社もあり、お使いはおなじみの狐です。三堀地区にも有志で祀られている稲荷神社が現存しています。

あとがき

以前武下嘉之氏より譲られた文献とネット検索を活用して作成しています。誤り記事を見つけてご連絡頂ければ幸いです。以前掲載の記事と共にご覧下さい。（編集士）